

ぴかほし 2年目の夏

今年の夏は暑いですね。夏バテせずに仕事をしていますか？

第3回長崎大学 PHN 研究会（通称‘ぴかほし’）は、7月15日（日曜日）、そろそろ梅雨も明けそうな予感の海の日に開催されました。

今回も、学年や所属が異なる卒業生 12 名が参加しました。まだ勤務して数週間の保健師も、もう(!?) 4年目になる保健師も、久しぶりに保健学科に入り懐かしそうにしていたが、皆さんすぐに学生の頃の表情に戻っていました。

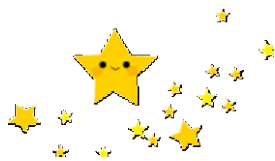
懇親会もなつかしい浜口町で、楽しい時間を過ごしました。

人の行動を変えるためのコツ

第3回の講師は中尾理恵子准教授です。参加者の中には、学生時代に中尾先生の保健行動理論の講義を受けた人がたくさんいましたよね？

今回は現場で保健指導、健康相談を行う卒業生保健師むけに、保健行動理論の復習と応用の講義が行われました。

学生時代に学んだ学習理論、動機づけ理論と自己効力感、行動変容時の指標として用いられる変化のステージ理論…。そうだった、と思い出す人も多かったと思います。日々の業務の中で、事業で、それらしきものを利用していますか？参加者はあらためて、現場で使える多くの理論があることを思い出すことができたようです。



現場の経験を積んだからこそ、意味のある講義になったのではないのでしょうか。

参加者の近況報告

・地域包括支援センターで働く保健師たち

直轄・委託の違いはありますが、地域包括支援センターで働く卒業生が増えました。

要支援ケアプランを 45 人担当しながら、「地域ネットワーク会議に飛び込んでいけたら」と考える 3 年目保健師。お昼ごはんを買いに担当地区の商店街に行くと、声をかけてもらえるようになってうれしいと話していました。

総合相談業務を担当する 4 年目保健師。複雑なケースが多く、先輩保健師と二人で頑張っています。福祉職の強さを感じるそうです。そろそろ他の保健師業務の分野も経験したいと考えています。たとえば特定保健指導とか…。

・特定保健指導いろいろ

職域で働く 2 年目保健師。特定保健指導を行っています。国保以外の特定保健指導のお話も大変興味深いです。「理数系の出身者が多く、数字が好きで、理論的な人たちに特定保健指導をしています」とのことでした。大変そう…？いや、面白そうですね。どんな指導をしているのか、いつか話してもらいましょう。

・地域に飛び込んで健康づくり

成人保健・健康づくり分野で働く 2 年目保健師。現在、職場の保健師 6 人中 2 人が産休中だそうです。大変！と言いつつも、健康づくり推進員さんたちと地域づくり食育を計画中です。健康づくり推進員さんは、男性料理教室卒業生で、高齢の方が多くそうですが、「とてもパワフル。一緒に悩みながら頑張っています」と話してくれました。彼女は学部の実習の時からそういうことをやりたいと話していました。覚えているでしょうか。

・看護師からの転職

看護師として 3 年働いたのち、現在は保健所の嘱託保健師。しっかり対応ができるので、結核担当ですが、家庭訪問もすぐに一人立ちしました。しかし、看護師時代と比べると座っている時間が長いので、「お尻が痛い」そうです…。訪問が増えてもむしろ大丈夫！？

・看護師からの転職 その2

「いつか地域包括支援センターで働くために」地域連携室のある病院で働き、とうとう包括の保健師に転職した卒業生もいます。

「入院中のケアから、退院したその後の対象者の生活が繋がって考えられるようになりました」と話してくれました。地域の人や資源とネットワークを作るといふ夢があります。

保健師になりたい、と学部の頃から採用試験に挑戦し新卒保健師となった卒業生はもちろんのこと、看護師から保健師に転職したいと大学を尋ねてくる卒業生もいます。学年も職場も違いますが、バラエティ豊かな経験あるメンバーがびかほしに集まっています。

保健師は「人とのつながり」から活動を広げ、生み出し、ネットワークを創っていきます。‘びかほし’を大いに利用してくださいね。

大学の近況報告

長崎大学医学部保健学科では、今年度入学者より保健師課程が選択制となりました。実習時期はこれまでと変わらず4年生で行われますが、選択制学生の実習体制について、現在具体的に検討中です。

大学院では、保健学専攻（修士課程）に1名の現職保健師が入学しました。職場とは違う環境は戸惑いつつも新鮮で、講義や同級生が刺激的で楽しいと話していらっやいます。

4月からは博士課程である医療科学専攻リハビリテーション科学講座地域リハビリテーション分野が開講されましたので、保健学科の校舎ではいま、学部・修士・博士の学生が学んでいます。

多くの卒業生がキャリアアップだけでなく、現場業務の振り返りのためにも大学院をめざしてくれることを楽しみにしています。



次回の第4回長崎大学 PHN 研究会は、下記の日程で開催します。

日時 12月1日（土）14時～（予定）

場所 長崎大学医学部保健学科

内容：卒業生保健師が、現在担当する業務の紹介と課題について発表します。

発表者：

泉野里美（大村市保健師 平成21年卒業）

松藤由布子（長与町保健師 平成23年卒業）

参加費 500円

みなさんに会えるのを楽しみにしています。

広域看護学講座ホームページもご覧ください。

<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/kouiki-kango/index.html>



長崎大学 PHN 研究会 事務局

住所 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1 長崎大学医学部保健学科（川崎涼子）

電話番号：(095) 819-7952

FAX：(095) 819-7952

電子メール アドレス：rkawasak@nagasaki-u.ac.jp